

いわむら

発行所 岩室村役場
印刷所 巻・北洋印刷K.K

No.190

岩室村の人口

(12月31日現在) 前月対比

男	4,390人	(+16)
女	4,834人	(-1)
計	9,224人	(+15)
世帯数	2,192世帯	(+4)

(住民基本台帳による)



昭和53年

新年祝賀会



▲「住みよい村づくりのため全力を傾注する」と、あいさつする金子村長

昭和五十三年新年祝賀会が去る一月五日、静閑荘で、議会議員、嘱託員など、村内各種団体の代表者、及び来賓など多数の方々の参集を得て開催されました。新年を祝い、新しい年の出発にあたり、村民の積極的な行政参加のもとで、住みよい村づくりのため、合意をもって始動しようと、開催されたものです。

冒頭、金子村長から、「昨年の施策の重点として掲げた、道路整備、教育施設整備、社会体育施設の設置……の重要事業については順調に実現できた」とこれまでの施政方針についての報告と、新年に対する施政方針の発表がありました。村長のあいさつと、懇談会の内容を要約し紹介します。

合意と参加を基礎に
調和のとれた村政をめざす

村長のあいさつから

個性と魅力ある村づくりのため、村民憲章の公布が実現することができた。家づくり、村づくりの指針として、日常生活の信条として定着させるための手だてを講じたい。また、「明日の岩室村を考える会」の答申をまっとう、そこに提起、提言のあった諸問題についても謙虚に受けとめ、積極的に対策していくつもりである。と前置きし、新年度の重点事業を次のように掲げ、その実現に向けて最大の努力を傾注することを明らかにしました。

◇ 道路の改良整備

村道の改良整備については、あと一息であり、今年も引き続き道路行政を重点的に対処することによって、村内の道路状況はかなり整備改良されることになる。

◇ 保育施設の整備

和納地区に保育園の新築と、間瀬保育園の改築については、それぞれ切実な問題であり、地域住民の強い願望でもあるため、国、県補助制度を最大限に利用し、いずれか一施設を実現するつもりである。

◇ 国土調査事業の開始

津雲田、富岡等、国鉄越後線以東の地域から開始する。

◇ 自然休養村 事業の完結

キャンプ場及び、水産加工処理場の設置をもって完了結したい。

◇ 公民館の建設準備

合併二十周年記念事業として、公民館建設をもくろみ、その用地を確保する。

懇談会から

高島一郎氏が公民館建設のことについて、堀井正雄氏から、不況下における中小企業育成対策について、また、大岩安平氏からは、米飯給食導入について、など活発な意見、要望がありました。

これに対し村長は、公民館建設用地については、議会をはじめ村民の意見を十分聴き合意される位置に決し、構造については機能的であり利用しやすいものにした。中小企業育成、米飯給食導入については、関係機関とも相談しながら、前向きに研究、検討したい、と述べました。